



# たかぎ 議会だより

No.92 令和3年1月

P2 年頭のあいさつ

P3.4 令和2年第4回定例会  
常任委員会報告

P5 議会活動報告

P6.7 一般質問

P8 地区懇談会開催

P9 喬木村議会議員及び喬木村長の  
選挙における選挙運動の公費負担に  
関する条例について

P10 この村でがんばってます



～1年の無病息災を願って～



# 年頭のごあいさつ

議長 下岡 幸文



新年明けましておめでとうございます。

皆様には清々しい新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。

昨年は新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、七月にはほぼ一か月に及ぶ豪雨による災害の発生など、私たちの生活に多大な影響を及ぼした一年となりました。かつて経験したことのない状況下での新たな生活様式の模索の中、皆様には議会活動・議員活動にご理解ご支援をいただきましたこと心からお礼申し上げます。

国の内外共に大きな変革の時代に遭遇している時、喬木村も人口減少、少子高齢化、高速交通網時代の村づくりに加え新型感染症対策、災害に対する防災減災対策など、多くの課題があります。住民の皆様のご代表・代弁者である議員は、互いに切磋琢磨し、多くの議論を交わし、新たな時代に解決策を見いだせる議会にならなければなりません。私たちは理想の議会を目指し、「仕組み」や「制度」など議会運営を工夫しながら取り組んできました。

今年六月には村議会議員選挙が予定されています。私たちの喬木村を更に良い村にするためには、多様な人材が自らの経験と個性を活かして活躍できる議会が必要です。昨今、議員のなり手不足が問題となっています。一番身近で暮らしに関わりがあり課題も多いのが村政であり、議員は村政を決定する大事な役割です。皆様には村政と議会に大きな関心を寄せていただくようお願いし、私たち議員も皆様の期待に沿うよう努めてまいります。

結びに、皆様のご健勝とご多幸を心よりご祈念申し上げます。新年のごあいさつといたします。

## 令和2年第2回臨時会

令和2年第2回臨時会が、11月9日に開会され、報告1件、議案2件、発議1件をそれぞれ審議のうえ可決した。内容は下記の通り。

### 報告第16号

### 専決第13号

令和2年度喬木村一般会計補正予算（第6号）⇒ 歳入歳出それぞれに4,250万円を追加  
（内容）新型コロナウイルス感染症への対策として、web会議用パソコン10台、感染対策アクリル板30枚。中学生以下のインフルエンザ予防接種助成、小中学校特別教室へのエアコン設置など。

### 議案第65号

財産の取得 ⇒ 伊久間工場団地の造成のため

### 議案第66号

令和2年度喬木村一般会計補正予算（第7号）  
⇒ 歳入歳出それぞれに100万円を追加  
（内容）寄付金（100万円）

### 発議第11号

災害からの復旧・復興及び国土強靱化等に向けた社会資本整備の促進を求める意見書について  
⇒ 全会一致で可決。国へ意見書を提出



議場の各机にアクリル板が設置されました。アクリル板は可動式で運搬が可能です。各地区行事においてもご利用いただけます。お問い合わせは役場総務課・議会事務局まで、お気軽にどうぞ！

# 令和2年第4回定例会

令和2年第4回定例会は、12月4日に開会し、条例の制定、条例の一部改正、令和2年度補正予算など全18議案を審議し、全議案を可決し、12月16日に閉会した。

## 報告第17号 専決第14号

一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定

⇒ 人事院勧告に基づきボーナスを年0.05月分引き下げ

## 報告第18号 専決第15号

特別職の職員（常勤）の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定

⇒ 人事院勧告に基づきボーナスを年0.05月分引き下げ

## 議案第67号

喬木村議会議員及び喬木村長の選挙における選挙運動の費用負担に関する条例の制定

⇒ 公職選挙法の一部が改正されたことに伴い、選挙公営制度に関する条例の整備を行う

## 議案第68号

喬木村会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定

⇒ 会計年度任用職員の期末手当改定の発効時期を規定

## 議案第69号

喬木村国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定

⇒ 所得税の控除額の減少により、国保税減免条件が変わらないよう規定の見直し

## 議案第70号

喬木村後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例の制定

⇒ 地方税法の一部改正による用語の見直し

## 議案第71号

喬木村家庭学習におけるオンライン学習通信費負担金徴収条例の制定

⇒ 教育委員会が行うオンライン学習事業において、インターネット環境のない家庭に通信機器を貸出し、通信費を家庭から徴収する条例

## 議案第72号

村単道路改良工事堰下（1工区）変更請負契約の締結

⇒ 法面整形工、コンクリート構造物の撤去など748万円の増加

## 議案第73号

村単道路改良工事堰下（2工区）変更請負契約の締結

⇒ 工法の変更、交通誘導員の増配置など1,886万円の増加

## 議案第74号

財産の取得 ⇒ 伊久間工業団地の造成のため

## 議案第75号・76号

村道路線の認定・廃止

⇒ 堰下ガイドウェイヤード内の村道201号・503号の廃止と、それに伴う認定

## 議案第81号

財産の取得

⇒ 分散執務及びweb会議用端末の整備（タブレット27台・ノートパソコン16台）

## 予算決算常任委員会

委員長 佐藤文彦

12月10日、15時30分より予算決算常任委員会を開催し、令和2年度各会計補正予算の審議を行い、全議案を原案の通り可決した。主な内容は下記の通り。今年度は新型コロナウイルス感染症対策や7月豪雨災害対応など、一般会計の総額は61億円余と通常年間予算の2倍近い大型予算となる。

### 令和2年度 一般会計補正予算（第8号）

・歳入歳出予算にそれぞれ、4億1,804万円を追加  
（主な歳出内容）

総務費：ふるさと納税関係経費	4,100万円
// ：リニア関連整備事業	2億760万円
民生費：統合保育所関係経費	240万円
災害復旧費：村単農業用施設災害復旧事業費	2,200万円
// ：村単土木施設災害復旧事業費	6,800万円
予備費：	4,888万円

### 令和2年度 国民健康保険特別会計補正予算（第3号）

・歳入歳出予算にそれぞれ、6万7千円を追加  
（主な歳出内容）

総務費：システム改修委託料	66,000円
---------------	---------

### 令和2年度 後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）

・歳入歳出予算にそれぞれ、27万円を追加  
（主な内容）

納付金の確定に伴う	
歳入：一般会計繰入金	27万円
歳出：保険基盤安定負担金	51万円
後期高齢者医療広域連合負担金	△24万円

### 令和2年度 介護保険特別会計補正予算（第3号）

・歳入歳出予算にそれぞれ、91万9千円を追加  
（主な歳出内容）

総務費：介護保険システム開発委託料	99万円
職員手当等	△7万円

今回の定例会では、請願1件の審査を行なった。

## 「安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守る」ための請願

### 請願提出の背景

新型コロナウイルスによるパンデミックは、経済活動や国民生活に深刻な影響を及ぼした。

感染症病床や集中治療室の不足。医師・看護師・介護職員の不足。保健所の不足などの「医療崩壊」が取り沙汰されている状況。

### 請願の趣旨

新型ウイルス感染拡大や自然災害などの事態の際に、経済活動の影響を最小限に抑え込むために医療・介護・福祉、公衆衛生施策の拡充を求める。

### 委員会で協議修正した意見書の内容

1. 医療、介護、福祉に十分な財源確保を行なうこと
2. 公立公的病院の統合再編や地域医療構想は、地域の声を踏まえた医療体制の充実
3. 医師・看護師・医療技術職・介護職員等の増員と人員不足補完のためのAI・IoT機器の導入
4. 公衆衛生行政の拡充

コロナ禍において、医療現場が逼迫していることは充分理解するが、意見書の内容に一部修正の必要な箇所が見受けられる

一部修正し意見書を提出することに決定

# 社会文教常任委員会

社会文教常任委員会では、SDGsの学習会を開催した。

## 第5次喬木村総合計画 後期計画の重点項目

- ①SDGs（持続可能な開発目標）の推進
- ②リニア中央新幹線、三遠南信自動車道の開通を見据えた対応
- ③デジタルトランスフォーメーション（DX）への対応

①のSDGsとは、2030年までに持続可能でよりよい社会を目指すための国際指標。貧困や紛争・テロ・温暖化・気候変動・資源の枯渇など様々な問題を抱え、このままでは近い将来人間が地球に住めなくなってしまうかもしれない危機感から、世界共通の17の目標推進を掲げた。最近では行政のみではなく企業の取り組みも始まってきた。TVコマーシャルでも増えてきたので注視してほしい。

②の高速交通網の開通を見据えた対応は、開通後の地域振興、移住定住、土地利用への取り組みを掲げた。

③のデジタルトランスフォーメーションへの対応とは、進化し続けるデジタル技術を浸透させることで、人々の生活をより良いものへと変革することや、既存の価値観や枠組みを根底から変えるような技術革新へ対応することを掲げている。これら進化するテクノロジーが私たちの生活を豊かにしていく。

私たち議員は、これら3点の重点項目の詳細を理解することで、より豊かな将来像の実現に向け提案できることはないか考えることが使命である。



# 議会活動報告

## 国への要望活動

11月17日、喬木村、喬木村議会では、県道大島阿島線の早期改良復旧、三遠南信自動車道の早期開通に必要な国土強靱化のための道路予算及び災害関連予算の確保を目的として、国の関係機関と地元選出国會議員を訪問して要望書を提出した。



地元選出 宮下一郎代議士へ要望書を提出

国土交通省へは、三遠南信自動車道の建設促進及び地方道の更なる整備拡充・強化を求める要望書を、財務省へは、それに係る事業の財源確保を求める要望書を提出。また、災害からの復旧・復興及び国土強靱化に向けた社会資本整備の促進を求める意見書も添えて提出した。

### 現状の課題

- 7月豪雨による災害復旧・復興
- 三遠南信自動車道、リニア中央新幹線開通を見据えた、広域における道路ネットワークの整備拡充。
- 国土強靱化に向けた諸施策

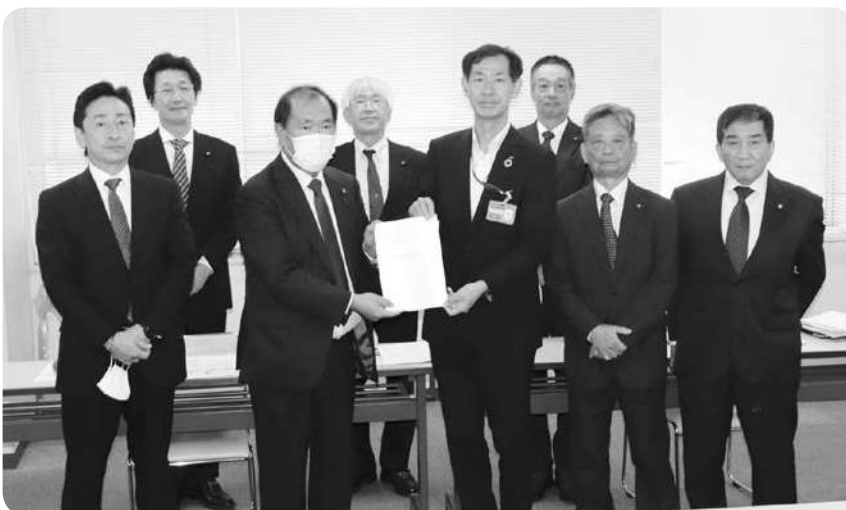
## 災害復興、国土強靱化施策に向けた取り組みを要望

## 県への要望活動

10月21日、喬木村議会は、長野県庁において、喬木村、県道上飯田線改良期成同盟会と共に、長野県議会並びに長野県に対し要望活動を行なった。

### 要望内容

- 県道大島阿島線の早期の災害復旧と防災対策の強化
- 防災、減災施策として主要地方道伊那生田飯田線小川渡橋の早期架け替え
- 県道上飯田線小川・下氏乗間の早期の災害復旧と防災対策の強化
- 県道上飯田線改良促進期成同盟会決議書



長野県 田下建設部長へ提言書を提出

### 県からの助言

大島阿島線の災害復旧は、改良復旧にて進めていく。道路整備については、大きな予算規模となるため時間の掛かる計画となる。更なる国の予算拡充を要するため、県としても要望していくが地元としても要望を上げて欲しい。



## 上平集落センターの安全対策について

後藤 澄 壽 議員



**Q** 上平集落センターの安全対策について、村としてはどのように考えていただいているか。

**A** 上平集落センターについては、県に対して急傾斜地崩落対策事業の実施をお願いしてきたところ、このたび、国の事業許可があり、令和3年度から6年度にかけ総事業費1億5千万円の事業を実施する。令和3年度には測量調査・設計を行い、令和4年度から6年度にかけて現場打放枠工を施行する予定である。

■農業振興について

■喬木村の教職員の超過勤務時間について



## 次年度予算編成の方針について

下平 貢 議員



**Q** コロナ禍で心配される次年度の予算規模と、重点事業、注力する点は何か。

**A** 来年度の重点事業は統合保育園の建設工事に8億3千万円、リニアガイドウェイヤードの造成工事に3億1千5百万円、阿島北地区の宅地造成工事に8千万円、これらの工事に伴う道路整備他、村内道路改良工事に3億1千万円となる。令和2年度の繰り越しも含む総額50億円を超える予算規模が見込まれる。

■第5次総合計画の後期計画におけるSDGsの位置づけは



## 「押印廃止」の村の対応について 村の現状と進捗状況は

櫻井 登 議員



**Q** 住民の行政手続きのメリット、村の行政事務処理上のメリットについて

**A** 住民の皆様には、オンライン申請やメール送信による手続き簡素化のメリットがある。行政には、組織や作業の生産性を向上させることや、電子決済システム等の整備により、ペーパーレス化などコスト削減、オンライン申請によるデータ入力による業務の効率化などのメリットがあると考えている。

■「マイナンバーカード」の付加機能とデジタル化の紐づけの課題は



## 喬木村住宅新築補助金の 見直しについて

佐藤 文彦 議員



**Q** 現状の規定（村内業者の施工箇所）を廃止し、一律での補助金制度に変更すべきと考えるが村の見解は？

**A** 交付金の趣旨は、村内への定住促進と村外から本村への居住の奨励を図るため。ただし交付要件で村内業者の施工箇所がある事を定めているため、村内の建築業者支援の側面のほうが大きかったと思われる。近隣町村でも地元業者の施工箇所の有無を交付要件にしている町村はない。廃止を前提に検討していく。

■村内業者の関与など加算方式の導入は？など



## コロナ禍の中で見えてきた 課題について

木下 温 司 議員



**Q** コロナ禍の中で認知症の発症状況は？コロナ禍の中、健診・診療控えなどがあると言われていたが、村の状況は？

**A** 外出自粛など生活の変化で、「認知機能の低下や着替えなどの日常生活動作が衰えるなどの影響が出た」との報告もあり、村としても外出や社会参加、人との交流に向けた地区サロン等への参加をお願いしている。検診・診療の状況は、5月が4月に比べ1割から4割減少している、現在は例月並みに戻っている。

■関連して、コロナ禍で起きた7月豪雨の中での避難体制など。



## 高齢期の聞こえの支援は

福澤 真理子 議員



**Q** 高齢期の聞こえの問題について、村民における状況・対策はどうか・補聴器の購入費の補助を提案したい。

**A** 身体障がい者手帳の交付対象者は村では11月現在40名、内65歳以上は37名である。中度難聴の方は把握していない。国の対策の中で、認知症の危険因子として難聴も挙げられているが、補聴器等の使用による予防効果を研究している段階。現段階で効果が明確でないため、補助については考えていない。





## 償却資産税の申告と、 取り扱いは。

小池 豊 議員



**Q** この税の申告と確認について、不公平のない徴収と、対応方法には。また5年間遡っての徴収についての村の考えは。

**A** 償却資産税の課税は、課税標準額の合計が150万円以上が対象になります。提出いただけない事業者に対しては、粘り強くお願いしていく。5年間遡っての徴収については、地方税法の定めにより申告義務が課せられている。この定めに沿わずに過年度分まで遡らないと、普通交付税が減額される。

■ゴミの減量化。ゴミの絶対量を減らす方策として、村の対応は。



本会議の様子

## 伊久間工場団地造成工事 進捗状況



現在伊久間工場団地の造成工事が行われている。阿島北地区からリニア高架橋建設による企業の移転先として、農振解除が行われ新工場建設に向けた準備をしている。工事期間中には、他のリニア関連工事も重なり運搬車両等が増えるが、安全等には十分な注意や配慮をお願いしている。何卒ご理解ご協力をお願いします。

## 村内のリニア関連車両の通行について



## 防災について

### ①避難所等の課題は？

- 1、避難所をいつ何処に開設したのか情報の通知方法を改善してほしい。
- 2、長期間の避難所開設方法について今回を教訓に検討してほしい。
- 3、避難所の環境整備を行い健康への配慮をしてほしい。
- 4、避難される方は地区等へ状況報告する必要がある。



### ②自主防災組織の課題は？

- 1、自主防災のメンバーは勤務労働者が多く応援を頼めない。
- 2、高齢化により地区の自主防災組織の弱小化が進んでいる。
- 3、地区の道作りを行っていることで大きな災害をまぬがれた。



### ③村・県への要望

- 1、小川渡橋については、現状の橋脚3本を減らす改良方法で要望してほしい。
- 2、災害時の気象データなど公開する情報の充実



## コロナの影響について

### 伝統行事の継承は？

お祭りは総代で神事のみ行った。獅子舞は三密を避け中止した。囃子の練習はしなかったなど、地区毎に対応された。

#### 課題

継承が困難になることが心配される。



### 区、自治会、公民館等の事業は？

飯伊地区の感染状況をみながら各地区で判断され、中止・縮小などの措置がとられた。

#### 課題

このまま事業縮小、淘汰しても良いのではないかと、という意見がある一方、コミュニティの崩壊を心配する意見も出された。

### 心理的・経済的な影響は？

- ・懇親会がなく、地域の店がだめになってしまう。
- ・人とのコミュニケーションができない。
- ・葬儀等簡素化する中、コロナ終息後の地域のつながりがどうなっていくか不安。
- ・喬木村のプレミアム付商品券は利率がよく村の経済にとっても良かった。できればもう1回実施してほしい。

#### 課題

地域の絆の欠如をどう補っていくか。



# 喬木村議会議員及び喬木村長の選挙における 選挙運動の公費負担に関する条例について

公職選挙法の一部改正する法律が公布されたことに伴い条例を制定するもので、この法律は令和2年12月12日から施行される。

本村においては令和3年6月に任期満了に伴い喬木村議会議員の改選期に当たり、この法律に基づき施行される。

## 選挙運動用自動車の使用

(1日)

## 選挙運動用ビラの作成

区分	上限数	上限単価
1、一般客運送事業者との契約（ハイヤー）方式		64,500円
2、1に掲げる契約以外の契約	1台	① レンタル、個人、会社等からの借り上げ
		② 燃料の契約
	③ 運転手の雇用	1人

区分	上限枚数	上限作成単価	公費負担以内
村長選挙	5,000枚	7円51銭	37,550円
村議会議員選挙	1,600枚	7円51銭	12,016円

## 供託金

区分	公営の有無			供託金額
	運動用自動車	運動用ポスター	運動用ビラ	
村長選挙	○	○	○	50万円
村議会議員選挙	○	○	頒布解禁1,600枚 公営対象	供託金の導入 15万円

## 選挙運動用ポスターの作成

ポスター掲示場数	上限枚数	上限作成単価以内
59箇所	59枚	(525円6銭×59箇所+310,500円)÷59箇所

※以上の改正を受け、今定例会において公職選挙法における飲食提供の禁止など法令遵守について、改めて議員間で確認した。

# 令和2年12月21日任期満了に伴う 選挙管理委員の選挙が行われた

## ○ 選挙管理委員

氏名	地区	期数
湯澤 俊夫	阿島北	3期
奥村 茂実	小川馬場	3期
木下 仁	伊久間	1期
市瀬みどり	阿島町	1期

## ○ 選挙管理委員会補充員

氏名	地区	期数
松澤 清	小川両平	1期
生嶋 恵子	氏乗	1期
仲田 茂	阿島南	1期
吉川 幸明	伊久間	1期



# 喬木村で新規就農しました

矢野 賢太郎



私は埼玉県出身で、農業とは疎遠な地域で育ち、元々農業には興味がありませんでした。私が農業に興味を持ったきっかけは、祖父の「これからは農業だぞ」という言葉に心を惹かれ、埼玉県の農業高校に進学しました。2018年に農業高校を卒業し、JA担い手プロデュース制度に参加し、株式会社市田柿本舗ぶらうに務めながら、きゅうりと柿の栽培・加工を2年間研修させていただきました。

今年の4月から就農し、母親と一緒にきゅうりと柿の栽培・加工しています。研修と違い1から10まで管理するため、病気や害虫などの防除の薬剤や防除のタイミングなど分からなかったため、農家さんや指導員の方に助言していただき無事に栽培することができました。

現在は加々須区に住んでおり、ご近所の方が良くしてくださり、そのご恩を、地区の行事に積極的に参加したりして、少しでも加々須区を盛り上げていければと思っています。

今後は、きゅうりや柿以外に、いちご狩り農家を目指して経営していきたいと思っていましたが、コロナ禍の状況で4～5年は延期したいと思っています。いちごを始める前に、しばらくは、きゅうりと柿の生産を、より品質のいいものを作れるように精進しつつ、スムーズにいちごにシフトしていけるように頑張ります。

喬木村の農家さんには、常に僕たちの作業の様子や、進行具合を気にかけて下さったり、技術や効率よくやる方法を教えていただきました。そんな素敵な人たちに囲まれた喬木村に就農出来て本当に良かったです。

## 議会日誌

### 10月

- 20日 議会報告会・地区懇談会 (加々須区)
- 21日 県・県議会 陳情活動
- 24日 議会報告会・地区懇談会 (大島区)
- 26日 飯伊市町村議会議員研修会
- 30日 議会報告会・地区懇談会 (大和知区)

### 11月

- 7日 議会報告会・地区懇談会 (氏乗区)
- 9日 令和2年第二回臨時会・全員協議会
- 11日 議会報告会・地区懇談会 (富田区)
- 17日 省庁要望活動・国会議員訪問
- 19日 議会報告会・地区懇談会 (小川区)

### 12月

- 4日 全員協議会
- 令和2年第4回定例会開会
- 10日 総務産業建設常任委員会
- 社会文教常任委員会
- 予算決算常任委員会
- 13日 本会議一般質問
- 16日 第4回定例会閉会
- 議員全員協議会

### 今後の予定

#### 1月

- 3日(日)成人式(延期)
- 10日(日)消防団出初め式(中止)
- 13日(水)全員協議会
- 19日(火)議会報告会・地区懇談会(伊久間区)
- 20日(水)北部ブロック町村議会議員研修会
- 21日(木)飯伊市町村議会議員研修会
- 未定 中学3年生との懇談会

#### 2月

- 8日(月)全員協議会

#### 3月

- 4日(木)令和3年第一回定例会開会(案)
- 11日(木)社会文教常任委員会(案)
- 予算決算常任委員会(案)
- 総務産建常任委員会(案)
- 13日(土)一般質問(案)
- 15日(月)予算決算常任委員会
- 22日(月)令和3年第一回定例会閉会(案)

## 表紙写真の説明

保育園で行われたどんど焼き(ほんやり)の様子

## ◆議会モニター交代しました◆

加々須区  
小澤 優子



コロナ禍の中で、昨  
年秋以降も村内諸行  
事、学校行事など中  
止・縮小されたが、様々  
工夫がされ、次に繋げ  
られるよう取り組まれ  
たこともある。開催す  
ることに慎重な意見も  
あったが、議会も報告  
会・地区懇談会の開催  
に至った。修学旅行は  
自分たちの住む地域の  
見直しに繋がったと報  
道されていた。地域の  
コミュニケーションの崩壊が  
心配されているが、知  
恵を働かせ、人と人が  
繋がることを大事にし  
ていきたいという思い  
を新たにしたい。心新た  
に、足元を見つめつつ、  
上を向いて歩みを続け  
たい。

(福澤眞理子)

## 編集委員会

- |      |       |
|------|-------|
| 委員長  | 福澤眞理子 |
| 副委員長 | 東原 靖雄 |
| 委員   | 中森 高茂 |
| 委員   | 下平 貢  |
| 委員   | 佐藤 文彦 |